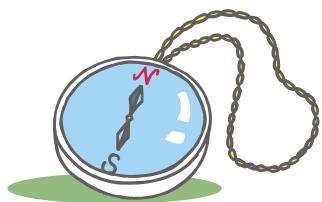


羅針盤



第27号

令和7年1月20日(月)

◆ 夢を叶えるために必要な3つの信念

自分自身の行動や発言について、いつも自信を持ちながら、そして、満足のいく結果を常に得ることができるといった状態にまでもっていくといったこと、それは、誰にとっても実行することは簡単なことではなく、なかなか難しいことではないかと思われます。自分が発言したことや自分がとった行動について、他人からの評価が気になってしまふといったことが、誰もが日常的に感じ取ってしまっていることではないでしょうか。しかしながら、自分自身が捉えているほど、周囲の人たちは大きくは受け止めていないことが大半であることも現実には事実です。自分にしか見えていない視点を、誰もが同じように捉えてはいないということ。つまり、もっと視野を広げて行動や発言といったものは考えるべきであり、自分自身が追い求めていることをしっかりと見据えて、信念をもちながら実現することに全力を尽くすべきであるということに、是非生徒の皆さんには気づいてもらいたいと思います。そのためには、まずは自分が定めた夢をひたすらに追い続ける決意を持つこと、次には、失敗を厭(いと)わず、自分で決めたやるべきことを持続させること、そして、最後に、夢を実現させるためには、そのために不可欠なおもしろくない作業であったとしても黙々とこなしていく努力を怠ることなく続けることができる、といったことがとても大事なことであるはずです。他人からの評価を気にするのではなく、堂々とした態度で、実現できるまで頑張ってみることに大きな価値を求めるべきではないでしょうか。その結果が、皆さん一人ひとりの大きな成長に結びついていくものであると思います。これらの3つの信念をもって実行すれば、心の底から納得できる幸福感といったものまでも手に入れることができます。結果としての成功や失敗に振り回されることよりも、自分自身の大きな達成感を得ることや、成長した姿からしっかりととした自信や勇気を得ることにこそ、明るく、素晴らしい「未来」が待っているものだと思います。



◆ 「金」よりも「和」

12月のことではありますが、令和6年という一年間を振り返っての世相を1字で表す「今年の漢字」は「金」でした。京都市の清水寺で森清範(もりせいはん)貫主が巨大和紙に揮毫されるこの行事も30回目を迎え、「金」が選ばれたのは5回目です。パリ五輪・パラリンピックで多数の金メダルを獲得したことや、政治の裏



金問題、物価高騰による家計圧迫などで注目が集まりました。森貫主は、能登地震を踏まえ「みんながつながっている」という意味を込めて「輪」となるのではと考えられていたそうです。また、「日本は二度と戦争をしないと決意した。でも最近、その決意が揺らいでいるのではないか。」と懸念されてもいます。森貫主自身が、いずれ書いてみたいと思う「今年の漢字」は、平和の「和」だそうです。その字を書くことができる日までは、頑張らなければと考えられているそうです。「平和への思い」を、誰もが大切にしていかなければいけません。

